

先生方にお聞きしました ~誕生日の思い出~



えんちょうせんせい

誕生日は1月4日。クリスマス、年越し、正月と続くイベントの中で家族はおろか本人すらすっかり忘れていた始末。そうこうしているうちに幼稚園新学期が始まり中旬も過ぎてから「そういえば…」母の誕生日は9日でしたので、大分旬を過ぎてから一緒に家族で祝いました。誕生日ケーキの変遷にも時代を感じます。バターケーキ(バラの花は必須アイテム)に始まり生クリームケーキ(かつて街中に一店舗だけあったモンタニユ、しかもここでしか生クリームを使ったケーキはなかったのです!東郷青児風の包装紙もちょっとしたステータスでした)、アイスクリームケーキ、現在のパティシエによる各店舗のオリジナルケーキまで父が大のお菓子好きだったのでこだわりの選択ばかりだったようです。



ゆたかせんせい

私の子どもの頃の誕生日は、まだ世間がそれほど豊かではなかったので、質素なものでした。ちよびりごちそう(好きな料理を作ってもらえる)+誕生プレゼントぐらいなものでした。ケーキなどというものが食卓にあがったのは、小学校高学年くらいからです。それでもその日が待ち遠しく2ヶ月くらい前からドキドキワクワク「プレゼントは何にしようかなー」と、期待に胸をふくらませていたものでした。プレゼントはリカちゃん人形やその服、リカちゃんハウス(小さいもの)などが主でした。



ゆきせんせい

私の誕生日は、夏休みも終わる頃なので、プレゼントは「旅行」や花火大会とセットだったことを覚えています。さらに、私は子どもの頃、欲もなく、ボーッとしていた子だったらしく、何がほしいのか、両親に何度もきかれてひねりだしていたことを思い出します。でも、そんな私でもどうしても欲しかったものが3つありました!! 一輪車と、ローラースケートと顕微鏡。顕微鏡をなぜあんなにほしかったのかは自分でもなぜですが、いろんなものをながめては発見して、すごく楽しかったことは覚えています!!! 今でも残っているので、また、見てみようかなと思っています!

